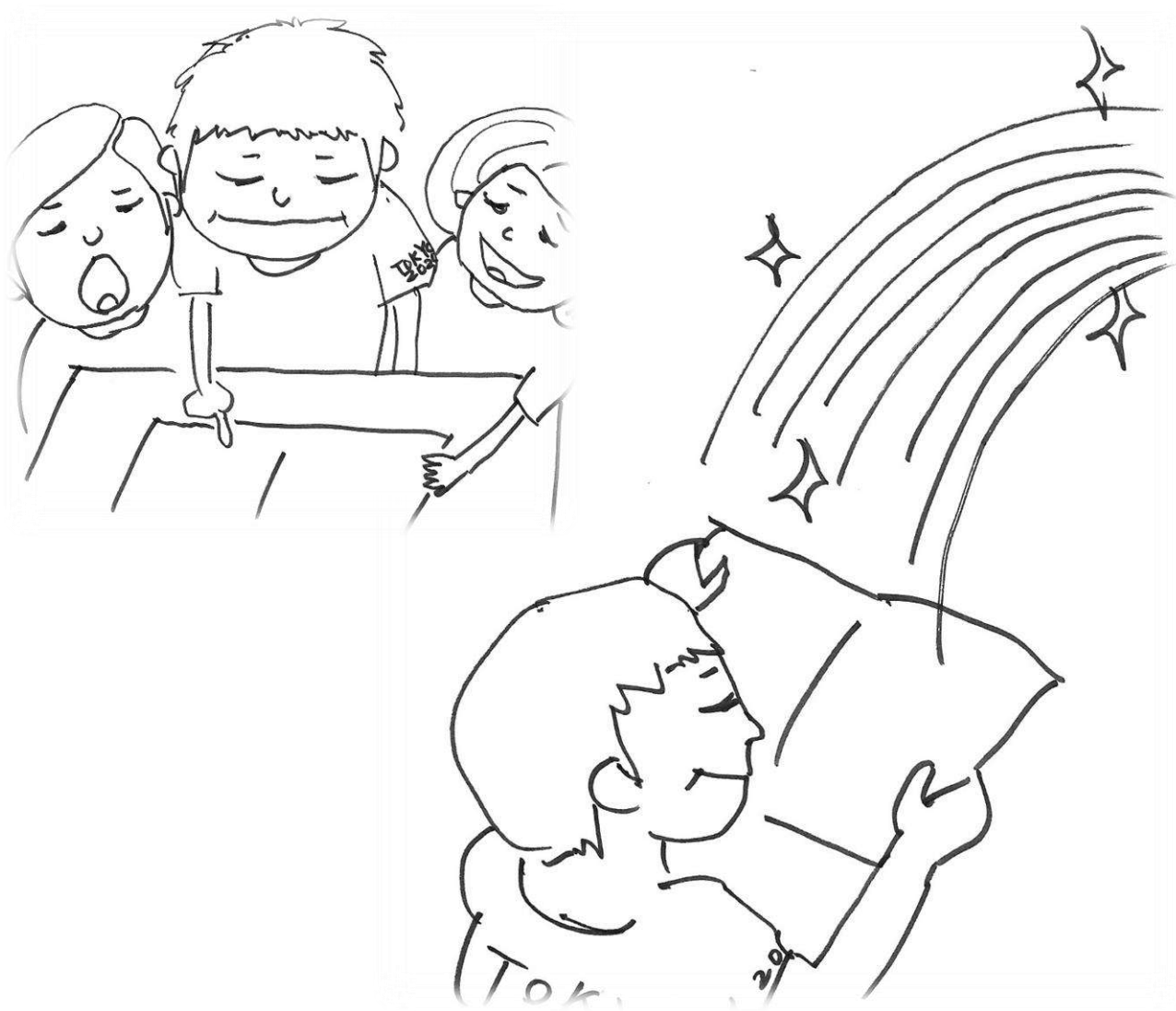


そうごうてき がくしゅう
総合的な学習の時間

かんぜんこういやく
完全攻略本2018



くりつしょうせん
大田区立松仙小学校

「総合的な学習の時間 かんぜんこうりやくほん 完全攻略本」とは？

この攻略本は、総合的な学習の時間こうりやくほんに取り組むときに、自分たちの力で学習すすを進めるための方法ほうほうやヒントをまとめたものです。まさに、総合的な学習の時間の「学びの地図」です。「学びの地図」は、マニュアルではありません。出発地点しゅっぱつや到着地点とうちやくはどこにするのか、どういう道たどを辿るのか、一直線で行くのか、行ったり来たりするのか…「学びの地図」の使い方つかは、学習するみんなに任まかされています。ぜひ、使いこなしてください。

目次

さあ、総合的な学習の時間を始めましょう！

1	どのような力が身に付くのか？	2
2	何を学習するのか？	2
3	どのように学習するのか？	3

総合的な学習の時間は、こうやって学ぶ！

1	何をするか決めるとき 新たな活動に入るとき	4 ~ 5
2	調べるとき 実際 <small>じっさい</small> に取り組んでみるとき	6 ~ 7
3	調べたことをみんなで話し合うとき 体験 <small>たいけん</small> を振り返るとき	8 ~ 9
4	学習のまとめをするとき 伝え合いをするとき	10 ~ 11

※ふりがなは、3年生以上で学習する漢字かんじが初めて出てくるページを中心に書いています。

さあ、総合的な学習の時間を始めましょう！



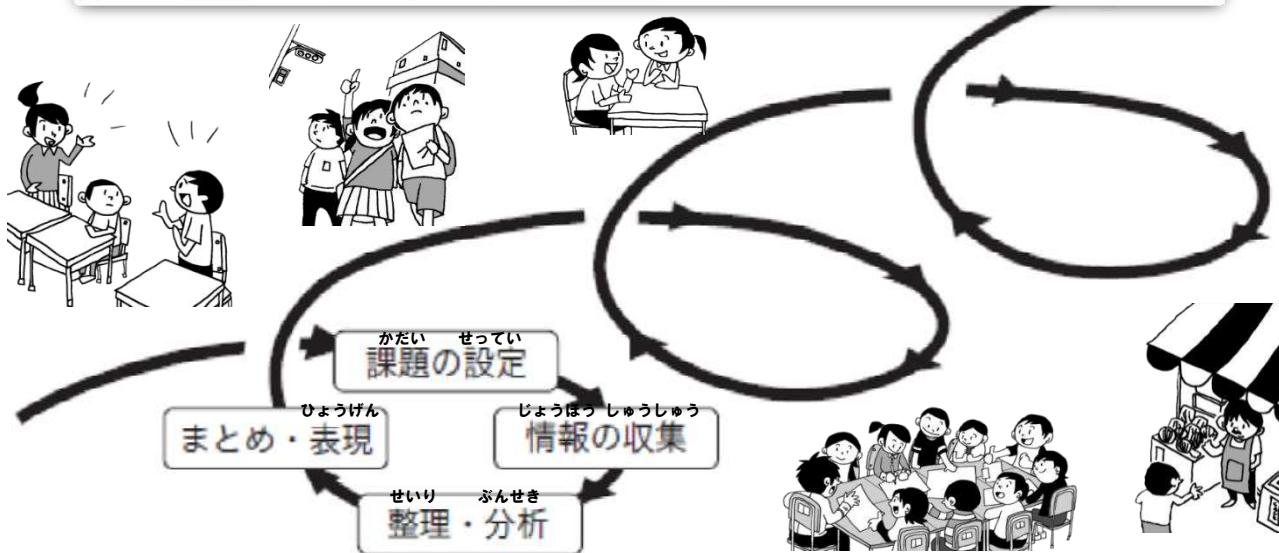
総合的な学習の時間では、
どのような力が身に付くの？

これら3つは、これからの時代を
生きていくために必要な力です。

① ^{いみ}意味を見いだす力（知識及び技能）

② ^{つく}学びを創る力（思考力、判断力、表現力等）

③ ^{かか}すすんで関わる力（学びに向かう力、人間性等）



総合的な学習の時間では、
何を学習するの？



自分たちで決めます！

- ✓ 自分たちの生活の中の「はてな」から、課題を見付けます。
- ✓ 友達や身近な人々と協力することで、解決できることを選びます。
- ✓ 1つだけの正解というのは、(実社会にも)ありません。

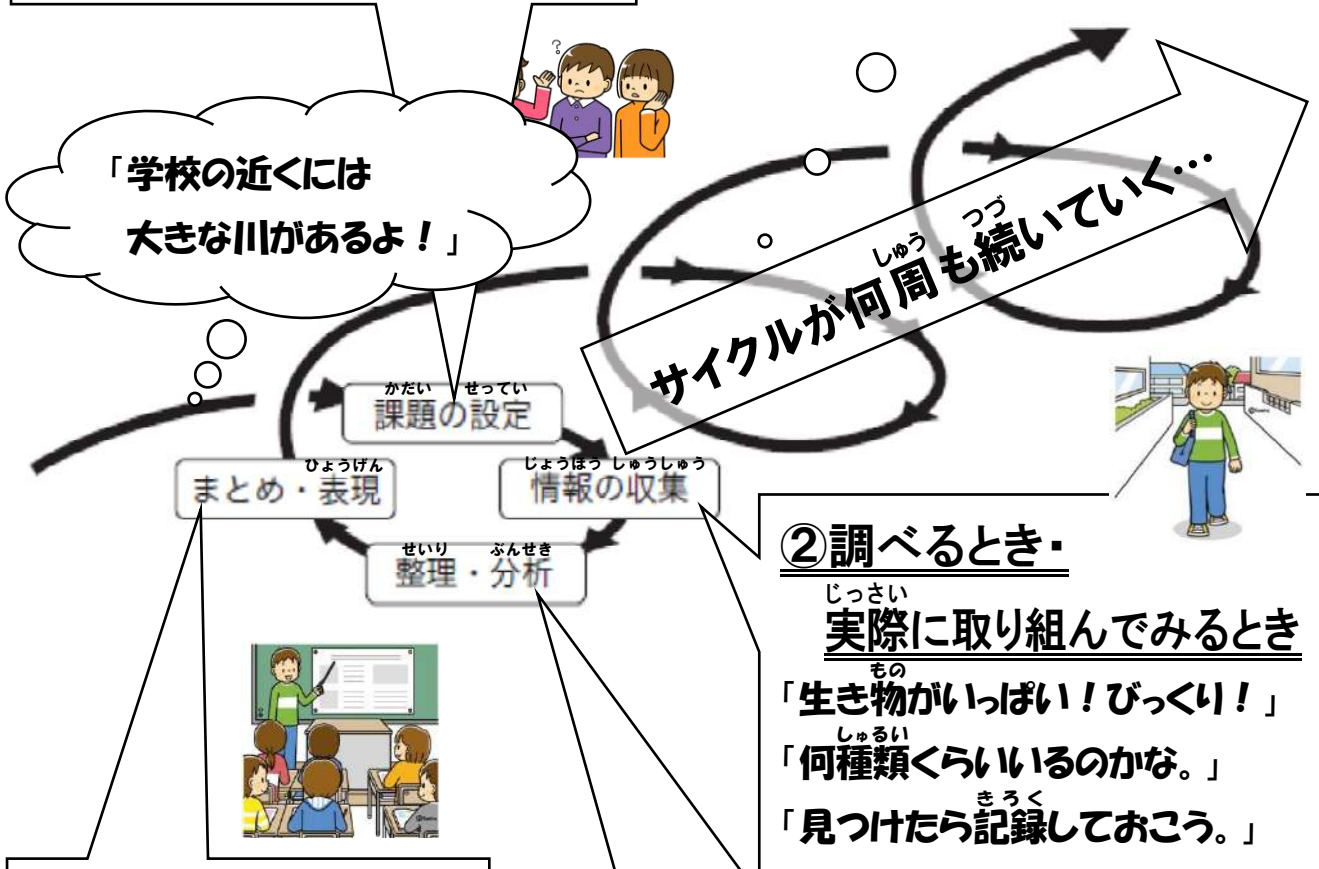


そうごうてき がくしゅう
総合的な学習の時間は、
 がくしゅう
どのように学習するの？

**①何をするか決めるとき・
 新たな活動に入るとき**

「でも、あの川は汚いよね。」
 「生き物って、いるのかな。」
 「みんなで行って、調べてみよう。」

「水のきれいさって
 調べられるのかな。」



「学校の近くには
 大きな川があるよ！」

サイクルが何周も
 つづいていく...

**②調べるとき・
 実際に取り組んでみるとき**
 「生き物がいっぱい！びっくり！」
 「何種類くらいいるのかな。」
 「見つけたら記録しておこう。」

**④学習のまとめをするとき・
 伝え合いをするとき**

「川の水のきれいさと
 何か関係があるのかな。」
 「もっと調べてみたいな。」

**③調べたことをみんなで話し合うとき・
 体験を振り返るとき**

「分かったことを表に整理しよう。」
 「棒グラフの方がいいよ。」
 「何か関係が見えてきそうだ！」



何をするか決めるとき・新たな活動に入るとき

ふだんの生活や、社会の様子に目を向けて、自分の疑問などを基に「解決したい！」と思える課題をもつことがより良い総合的な学習の時間につながっていきます。1つの課題を解決する中で、新たに分からないことや調べたいことが生まれ、次の「課題」ができることもあります。

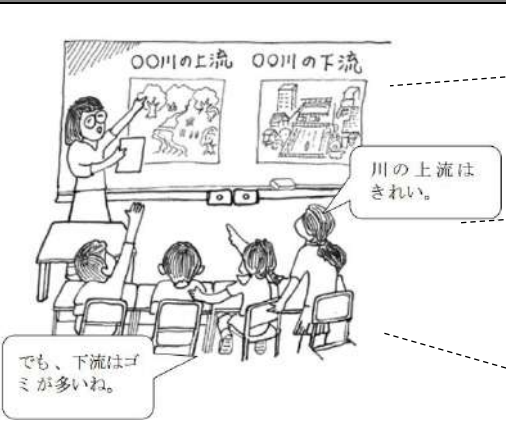
★ 課題の手がかり～価値ある課題はここから！～

課題の手がかり

- ✓ 日頃、「気になるな」「何とかしたいな」「解決したいな」「こうしたいな」「不思議だな」と思うこと
- ✓ 前時までの学習の振り返りから
- ✓ 資料を比べて気付いたこと
- ✓ 地域の人や専門家との交流で気付いたこと など

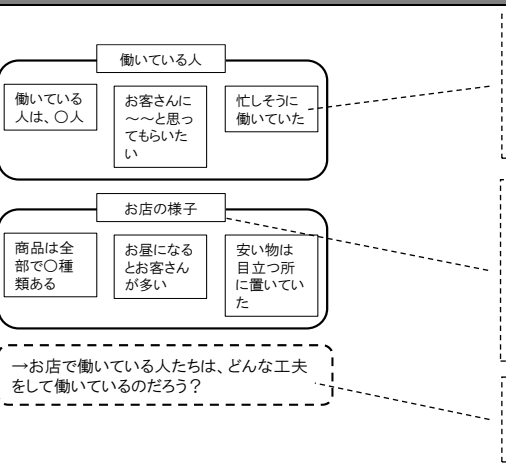
★ 課題の手がかりが見付かったら……

やり方① 2つの事実や資料を比べて課題を決める



- ✓ **比べやすいものを選んで比べる！**
「今と昔の映像」「2枚の写真」など。
- ✓ **友達と協力して考えを出し合う！**
友達の発言から共通点や違いを見つける。
- ✓ **他の教科などの学習を生かす！**
社会科や算数の学習を生かして資料を読み取る。

やり方② 気付いたことなどを付せん・カードに整理して課題を決める

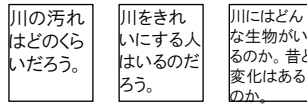


- ✓ **付せんには短い言葉で書く！**
- ✓ **1つの付せんには1つの内容を書く。**
- ✓ **説明しながら1枚ずつ付せんを出す。**
- ✓ **似た意見の付せんがあれば、そのときに出し合う。**
- ✓ **同じ内容で囲んだり、名前を付けたいする！**
- ✓ **みんなで話し合っ、課題を決める！**

他 かい やり方③ その他の方法で課題を決める

多くの疑問の中から、大切なことを選び、課題を決める

- ✓ 課題にすることを、付せんやカードに書き出す。
- ✓ 大切なことは何か考え、順番を決める。
- ✓ みんなでどういふ基準で順番を決めるか話し合って決める。



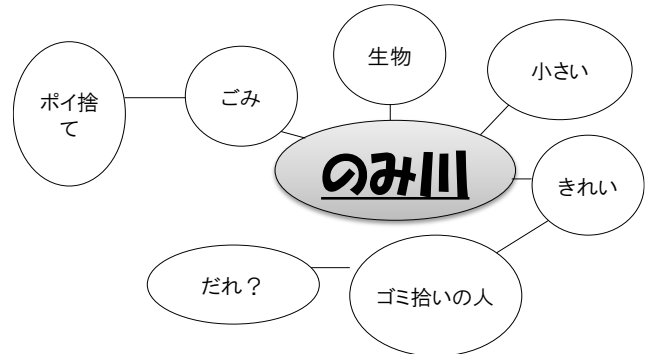
↓

調 <small>しら</small> べること ベスト3	
1	川 <small>かわ</small> の汚 <small>よご</small> れ
2	川 <small>かわ</small> の生物 <small>せいぶつ</small>
3	川 <small>かわ</small> に <small>か</small> ゐ <small>る</small> 人 <small>ひと</small>

ウェビングでイメージを広げてから課題を決める

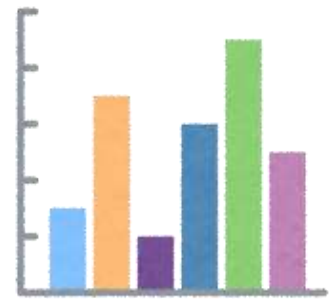


- ✓ 中心テーマを決め、その周りにイメージすることを書き出し、線でつなぐ。
- ✓ 完成した図を見て、同じ内容を線で囲んだり、関係するものを線でつないだり、大切だと思ふことに印を付けたいする。
- ✓ 完成した図を友達と見合っあって、話し合あいを通して課題を決める。



グラフの変化を読み取って考えたことを基に課題を決める

- ✓ 読み取りのポイント(例)
 - ①変化の大きいところ
 - ②変化の小さいところ
 - ③変化の特徴
 - ④グラフから言えること
 - ⑤全体的にどのようなことが言えるか、など



- ✓ 読み取った事実を基に、疑問を見付けて課題を決める。
 どうしてこのような変化になったのか、これからどうすべきなのかを考える。

しら じっさい と く 調べるとき・実際に取り組んでみる時

自分たちで決めた課題を解決するには、調べたり、実際に取り組んだりする必要があります。そうすることで、分からなかったことが分かるようになり、課題解決に近づくことができます。

★どんな情報を、どうやって集めるの？

✓ <u>自分で</u> 調べてみたいな！	→	✓ 本、インターネット、 ✓ 見学、体験、実験、観察
✓ <u>区役所の人</u> に聞いてみたいな！	→	✓ インタビュー ✓ 学校に来てもらい話を聞く ✓ 電話、メール、FAX
✓ <u>詳しい人(専門家)</u> に聞いてみたいな！		
✓ <u>多くの人の意見</u> を聞いてみたいな。 <u>他の人</u> はどう思っているのかな！	→	✓ アンケート ✓ インタビュー



★「調べる時」のポイントはこちら！

流れ	すること	例(多摩川を調べる)
もくてき 目的を考える	<u>何のために</u> 情報を集める るのか確認する。	たまがわ 多摩川のことを町の人はどう思っているか たし 確かめるために情報を集める。
ないよう 内容を考える	<u>何を調べるのか</u> はっきり と決める。	たまがわ 多摩川に行くのはどんな時か、多摩川の良 い ところは何か調べる。
ほうほう 方法を決める	目的・内容に合う <u>調べる方法</u> を決める。	多くの人に話を聞きたいから、アンケートに する。アンケートは地域の人に配る。
ほぞん 保存の方法を 考える	<u>これからの学習に役立つよ うに</u> 集めた情報を取っ ておけるようにする。	アンケートの用紙を見て、その結果をノート に書く。内容ごとに見出しを貼って分かりや すくする。

★「調べるとき」の具体例・ポイント

アンケートで調べる

【アンケートの例】

〇〇市に訪れた方へのアンケート
 私たちは今、「〇〇市の魅力」につ
 いての調査をしています…。

- ① 〇〇市には、観光でお越しです
 か？
 はい いいえ
- ② 何回目の訪問ですか？
 初めて () 回
- ③ 〇〇市の魅力は何ですか？
 自然、温泉、食べ物、文化、
- ④ ③についてなぜそう思うので
 ですか。

記述欄

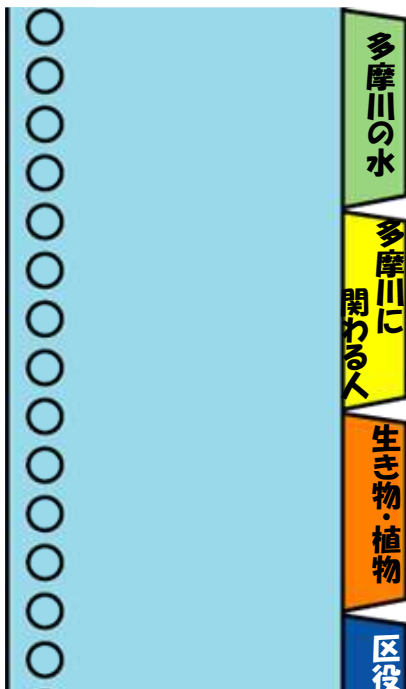
✓ **短く分かりやすい質問に！**
アンケートに答える人に分かりやすい文を書き
 ます。友達と見合ったり、先生に点検をして
 もらったりします。

✓ **短時間で回答できるようにする！**
 「はい」「いいえ」で答えられる質問や、い
 くつかの中から選ぶ形式を取り入れると良い
 です。

✓ **まずは答えやすい質問から！**
1問目などは答えやすい質問にし、意見や理由
 を聞く場合は、最後の方に設けると答えやす
 くなります。

ノートやファイルに調べたことをためていく

【ため方の例】



✓ **見出しをつけておく！**
 見出しをつけることで、何ページに何が書かれてい
 るかははっきりします。**集めた情報を後で見返すときに分かり
 やすくなります。**

✓ **大事なところを自分なりにチェックする！**
 集めた資料をそのまま取っておくだけでなく、**自分で
 大事なところだけを書いたり、色ペンで線を引いたりしてお
 く**と、集めた情報を使いやすくなります。

調べたことをみんなで話し合うとき・

体験を振り返るとき

せっかく得られた情報もそのままでは、もったいない！

関係を見付けたり、新たなことに気付いたり、自分の考えを作ったりするために、みんなで話し合ったり、振り返ったりすることを大切にします。

★何をどのように「話し合ったり、振り返ったり」するの？

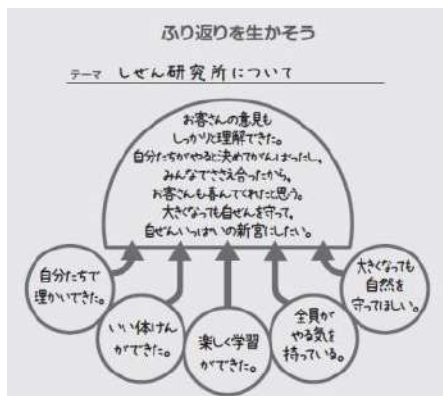
なに 何を	かつどう れい 活動の例
✓ 町の 特徴 や 問題点	→ ✓ 付せん (は) に書き出したものを 仲間分けする
✓ スーパーのエコバッグの 利用率	→ ✓ グラフに表して、 特徴を見付ける
✓ 商店街のお店の 種類	→ ✓ 地図 (ちず) にシールを貼 (は) って、 特徴を見付ける
✓ 自分たちで作る和食の メニュー	→ ✓ メニュー同士を 比べる

話し合ったり、振り返ったりする内容によって、どう考えるかを決めていきます。

★活動のポイントはこれだ！

活動を振り返りたいとき

しぜん研究所について振り返る
クラゲチャートを使って、

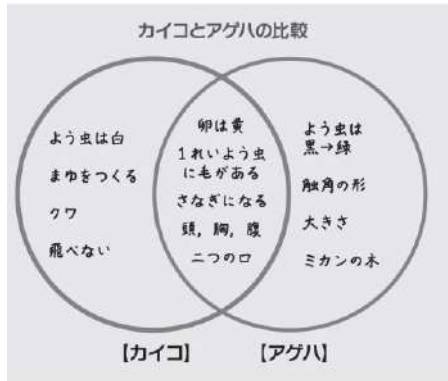


✓ 自分が感じたことや気付いたことから、考えをまとめる！

活動したことや感想を下の足の部分 (○) に記入し、上の頭の部分に、それを基にした自分の考えを記入することで活動を具体的に振り返ることができます。

調べたことを比べたい、仲間分けしたいとき

ベン図を使って、
カイコとアゲハの特徴を比べる

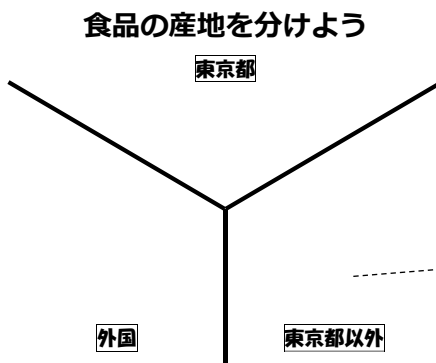


✓ **比べることで、同じことや違いが分かる!**
 1つのものだけを調べるよりも、他のものと比べることで、そのものだけがもつ特徴や他のものと同じことが見えてきます。

✓ **付せんを活用しよう!**
 付せんを活用すれば、別の場所に動かしたい時に素早く動かすことができます。付せんに意見や考えを書いておくと、話し合いもスムーズです。

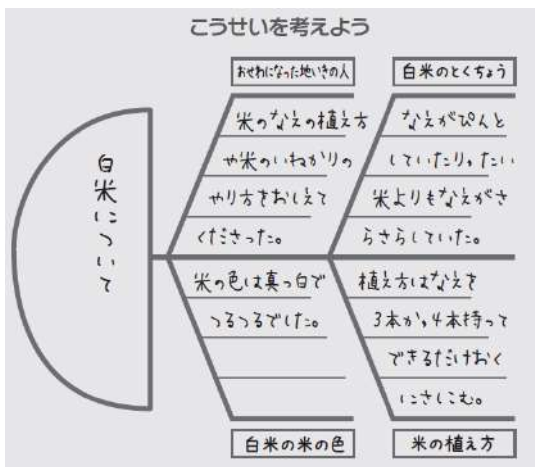
✓ **分類することで、特徴が分かる!**
 仲間分けをしてみると、「このお店は〇〇からの食品が多いね。」など特徴がはっきりします。

Yチャートを使って、
食品の産地を分ける



より詳しく考えたいとき

フィッシュボーンを使って、
白米について調べたことを書き出す



✓ **考えをはっきりさせたり、具体的にしたいができる!**
 体験したことを発表したり、文章にまとめたりする前に、フィッシュボーンを使って、考えてみると伝えたいことや書きたいことがはっきりします。

学習のまとめをするとき・伝え合いをするとき

みんなで、話し合ったり、振り返ったりした後は、学習のまとめをします。
 学習したことをだれかに伝えたり、自分の考えとしてまとめたりすること
 で、調べている課題がよく分かったり、新たな課題が生まれたりします。
 これが、深まりのある学習活動につながるのです。

★何をどのようにまとめたり、伝え合ったりするの？

なに何を	どのように
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本やインターネットで調べて分かったこと ✓ 友達との交流、話し合いを通して分かったこと ✓ ゲストティーチャーの話、質問から分かったこと ✓ 実際にやってみて分かったこと、体験してみ分かったこと ✓ これまでの学習の感想・振り返り ✓ 学習を通じた自分の成長・変化 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 振り返りカードを書く。 ✓ 保護者や地域の人を招いて発表会をする。 ✓ プレゼンテーションソフト（パソコンの画面）を使った発表会をする。 ✓ 新聞、レポート、パンフレット、ポスターを作る。 ✓ 立場を決めて話し合ったり、友達と議論したりする <p style="text-align: right;">など</p>

★「まとめをするとき」・「伝え合いをするとき」のポイントはこちらだ！

振り返りを書くときのポイント

振り返りカード

単元名「〇〇川について考える」	5年	〇〇〇〇
-----------------	----	------

これまでの自分の学習活動を整理して書きましょう。

〇〇川に探検に行ったとき、はや、ふな、スナヤツメなどのたくさんの生き物がいたのでおどろいた。ぼくは、川に住むいろいろな生き物についてもっと知りたいと思い「〇〇川の生き物の種類と特徴」について調べることにした。

調べた生き物は、絶滅危惧種のスナヤツメです。この魚は、

友達の発表や話し合いから気付いたこと、思ったことを書きましょう。

Cグループの発表を聞いて、〇〇川が前よりきれいになっていることが分かりました。それは、川の近くに住んでいるボランティア活動をしている人たちや町役場の人たちが川をきれい

「もっと知りたいこと」、「これからやってみたいこと」、「やらなければならないこと」などを書きましょう。

絶滅危惧種のスナヤツメは、このままのきれいな川の中では生きていけません。なんとか、川をきれいにしなければなりません。Cグループの発表から川をきれいにするためにがんばっている人がいることが分かりました。ぼくたちもその人たちと力を合わせて川をきれいにしていきたいと思います。

ぼくたちにできることは、毎月1回川のゴミを拾うことやゴミを捨てないようにポスターをつくることです。

- ✓ これまでの学習をよく思い出して振り返る！
- ✓ 友達の発表や意見から分かったことを書く！
- ✓ 書くこと(視点)を決めて書く！

話し合っ^てまとめをするときのポイント

わたし
私は、□□と考えます。理由は2つあります。1つ目は、……。2つ目は……。



この本に書いてあるように、私は多摩川について、〇〇と考えます。

□□さんの意見は確かにそうだと思うな。話し方も分かりやすくていいな。

はつげん みじか
✓ **発言は短く！
かんたんに！**

りゆう
✓ **理由のある発言をする！**

まな
✓ **友達の意見に学ぶ！**

ほか ひょうげん ほうほう その他のまとめ・表現する方法のポイント

ほごしゃ ちいき
保護者や地域の人を
まねいた発表会

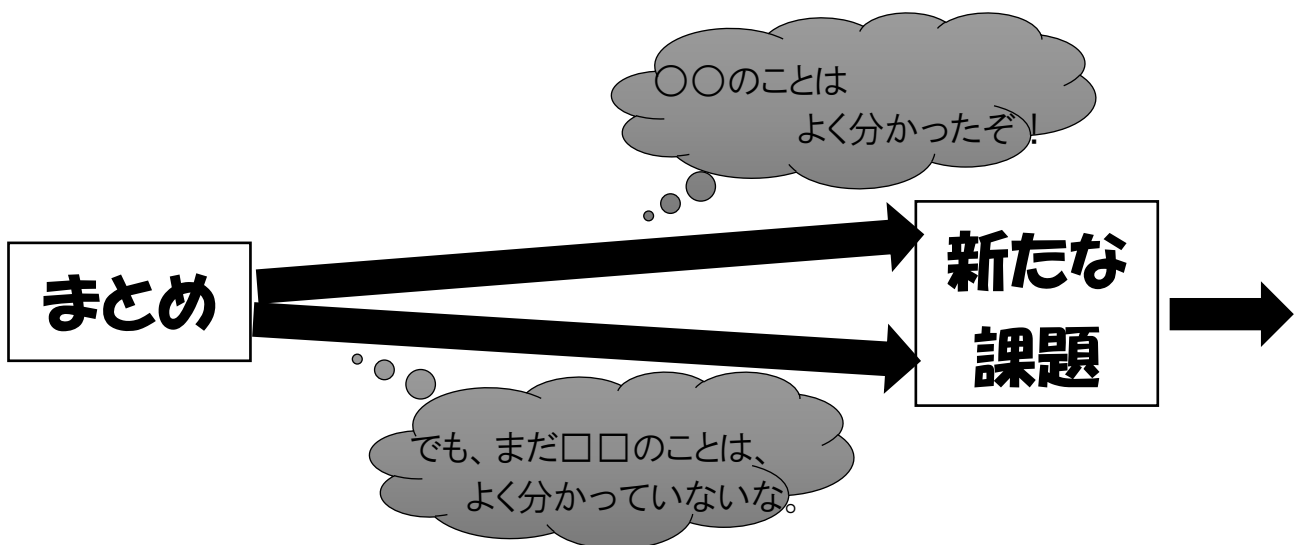


- ✓ どういう発表にしたら、保護者や地域の人分かるか、**相手のことを考えて発表をしよう。**
- ✓ 自分の考えをはっきりさせ、**伝えたい内容や言いたいことを明らかにしよう。**
- ✓ どのような**順序**で発表したら、分かりやすくなるか考えよう。

新聞、レポート、パンフレット、ポスターにまとめる

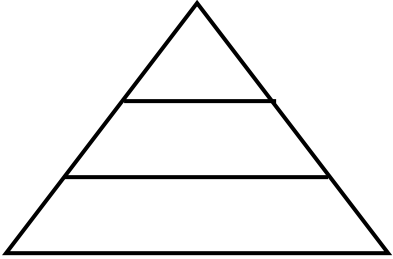
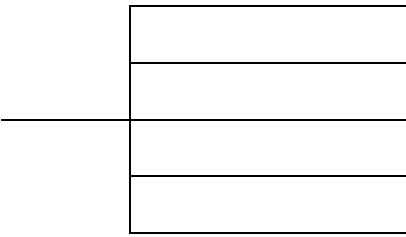

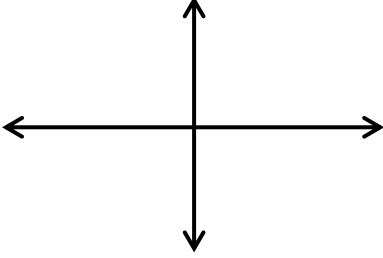


- ✓ 「多くの人たちに発信する」「自分自身の記録」など**目的や読み手に応じて形式、内容を工夫**しよう。
- ✓ 読んでもらった人に感想をもらい、**自分たちの発表を評価して（よいところや改善点を言って）もらおう。**
- ✓ 読んだ人の感想を基に、**よかったところや改善点**を見付けよう。



まとめを通して、分かったこと・まだ分からないことをはっきりさせて、次の活動につなげていくことが大切です。

〔その他の思考ツール〕

 <p>ピラミッドチャート</p>	 <p>くま手チャート</p>	 <p>ダイヤモンドランキング</p>																																													
 <p>座標軸(ざひょうじく)</p>	<table border="1" data-bbox="592 510 999 745"> <thead> <tr> <th>P</th> <th>M</th> <th>I</th> </tr> <tr> <td>いいところ</td> <td>だめなところ</td> <td>おもしろさ</td> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>PMI</p>	P	M	I	いいところ	だめなところ	おもしろさ																<table border="1" data-bbox="1031 510 1441 768"> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>マトリックス(表)</p>																								
P	M	I																																													
いいところ	だめなところ	おもしろさ																																													

〔参考文献〕

- 石堂裕・村川雅弘監修（２０１６）『アクティブ・ラーニングのＡＢＣ』日本文教出版
- 文部科学省（２００８）『学習指導要領解説総合的な学習の時間編』東洋館出版社
- 文部科学省（２０１０）『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（小学校編）』教育出版
- 文部科学省（２０１７）『学習指導要領解説総合的な学習の時間編』東洋館出版社
- 村川雅弘・田村知子・東村山市立大岱小学校編著（２０１１）『学びを起こす授業改革：困難校をトップ校へ導いた“大岱システム”の奇跡』ぎょうせい
- 田村学・黒上晴夫（２０１３）『考えるってこういうことか！：「思考ツール」の授業』小学館
- 田村学編著・みらいの会（２０１５）『生活・総合アクティブ・ラーニング：子どもたちの「能力」の育成と「知」の創造を実現する授業づくり』東洋館出版社
- 田村学編著・嶋野道弘編著・みらいの会（２００９）『これからの生活・総合：知識基盤社会における能力の育成と求められる教師力』東洋館出版社
- 東京都小学校生活科・総合的な学習教育研究会編・田村学監修（２０１２）『総合的な学習 授業づくりハンドブック』東洋館出版社

総合的な学習の時間 完全攻略本

平成２８年１０月２４日 第１版発行

平成２９年 ３月３１日 第２版発行

平成３０年 ３月３０日 第３版発行

著者 東京都大田区立松仙小学校

代表 齊藤 純

〒１４６－００８５ 東京都大田区久が原１－１１－１

TEL ０３－３７５３－９１４１

FAX ０３－３７５３－９１４２